

新宮山彦ぐるーぷ 第1804回

順峯奥駈修行復興40周年記念入峯の

吉開賢淳師一行支援

◇実施日：平成27年4月29日(水)～30日(木)

◇修験者：吉開賢淳(三井寺所屬・柳川市千乘院院主)、椎木 堯
(当会員)、今野 孝(羽黒山行者)、浅村朋伸(仏師)

◇参加者：川島 功、沖崎吉信、大江加予子、大江徳子、畑林
秀味、畑林清子、青木宏充、梶野照雄(日帰り)計8名。

戦後、天台寺門宗官長・福家俊明猥下が、順峯奥駈修業を復興
されてから40周年にあたり、猥下から大峯奥駈修行復興記念
の入峯を託された吉開賢淳師が、25周年・30周年・35
周年と入峯され、40周年記念の入峯は喜寿になられるで満
行するため、単独入峯でなく4人同行の計画書(4月25日・
速玉大社から5月3日・山上ヶ岳・大峯山寺戸開式参加)を拜
受し、玉岡さん同様に支援することにした。

4月25日(土) 天候：快晴

新宮駅13時過ぎ到着の椎木氏を川島・沖崎が迎えに行くのと、
先着の今野氏も居られ、沖崎宅で行者衣装に着替え、玉岡さん宅
を表敬訪問された。

新宮駅15時着の吉開師・浅村氏を迎えに行くと、浅村氏は椎
木氏と同列車で着き、時間もあり神倉山へ行って来たとの事であ
ったが、4人で神倉山に登拝。下山後徒歩で速玉大社へ。川島は、
車で移動、沖崎氏から連絡を受け山上さんが、速玉大社鳥居で吉

開師一行を出迎えて下さった。速玉大社で満行の御被いに同席し、
車で阿須賀神社へ移動し参拝。西宮司は、プロの篠笛奏者だそう
で「阿須賀」という自作の奉納曲を聞いての参拝となった。篠笛
の音が阿須賀神社境内と蓬萊山に響き渡り感動する。
宿舎のサンシャインホテルに17時過ぎに送る。
18時過ぎからホテル近くの居酒屋で玉岡、山上・沖崎・川島
が同席し、満行の激励会を行い20時過ぎに解散した。



神倉山登拝



速玉大社参拝



満行激励会

4月28日(火) 天候：快晴

山上さんは、大森山山頂で吉開師一行を出迎えてに行かれた。

4月29日(水) 天候：小雨午後曇り

天気予報では、29日：晴、30日：曇。このことから、管理
棟屋根・ペンキ塗替え作業をするため、梶野氏に参加要請をする。
夜半には雷雨があったが、新宮7時出発時には小雨になり登山
口では霧雨になるもペンキ塗替え作業は無理だ。

食料品等の荷上準備していると梶野氏が合流。堺市は曇りで伯
母峰トンネルを抜けると小雨が降り出したとのこと。前線の影響
は紀伊半島南部程受けている様だ。

女性陣に賄い方を頼み、沖崎・畑林・川島は水汲みへ。その間、梶野氏は食台1卓に自製のアルミ脚を荷上げて下さり、又、26日に円形LED電灯を設置したが、少し暗いとの事で増球の細工をされた。

11時半前から早めの昼食とする。次第に明るくなり曇り空になって来る。

年末に満杯だった薪棚は、良く宿泊される誰かさんに炊かれて、残り僅かであり、昼食後新作りと佐田ノ辻付近に放置の杉丸太の皮剥ぎをする。

その間女性の賄い方は、吉開師から翌日の弁当は、おにぎりにして欲しいとの要望があり、小さ目のおにぎり弁当作りと夕食の準備をして下さる。

青木氏は、前鬼・太古ノ辻に「池郷林道は歩行も通行不可」の看板を設置して、15時半過ぎに行仙宿登って来られる。

15時50分、雨の影響も少なかった様で、吉開氏一行が元気な姿で到着。



杉丸太の皮剥ぎ作業



吉開師一行元気に到着！



休憩時、雨も上がり行者堂前に奉納ノポリ旗を立てなければ思っていたが、勤行後になってしまった。玉岡さんの様な配慮が足りなく反省する。

荷上げた水は十分あり、吉開師に水汲みを控えたらと勧めたが「行だど！」水汲みに降りられる。

水汲み後、管理棟で着替えられ、17時より四足抜きのおでん+刺身+イタダリの油炒め等の料理、修行中であり飲酒を控えられたので乾杯とはならず「無事万行！」の掛け声で夕食懇談が始まる。同宿者(12名)に吉開師一行は、新宮から歩いて大峯山寺戸開式参加に合せての順峰奥駈行中を紹介する。その後、同宿者も食卓を囲んで懇談となる。梶野氏18時頃に下山し堺市へ帰宅。

3時起床、4時出発のため、朝食準備をすると同宿者や吉開師一行にも迷惑と思われ、吉開師一行には行仙宿、山彦ぐるー2ぶは管理棟の宿泊として19時前に就寝して頂く。我々は、管理棟で21時前まで酒宴談笑する。



夕食準備中



吉開師のご挨拶



朝食後記念撮影

4月30日(木) 天候；快晴

起床2時30分、朝食準備。吉開師一行を3時に起し、管理棟で着替えて頂き朝食。

おにぎり弁当十セミノール各2個を持たす。

行者堂で勤行を済ませ4時5分、前鬼・小仲坊に向けてヘッドランプを点灯して出立。「満行されますように！」と見送る。

5時半まで一寝入りする。

当初、沖崎・川島で接待する予定であったが、大江・畑林さん参加により行き届いた食事等の接待支援が出来感謝したい。

昼から所用があるとの事で大江・畑林さん達が8時過ぎに下山。ペキ塗替えに絶好の日和になったが、梶野氏下山し次に必ず電話連絡する様に下山の為、やむなく次回に延期とし、屋根に転落防止の安全帯用のメインロープを張る。

3人で杉丸太の皮剥ぎを続行し、全て皮剥ぎ(10本)を終えると共に少し薪作りをする。

寝不足もあり早めの昼食を済ませ12時前に下山した。

(川島 記)